



しょう しゃ じ き そ ちょうさひょう し せつにゆうしょしゃよう
障がい者 (児) 基礎調査票 (施設入所者用)

(お答えいただく前に)

○ この調査票は、できるだけ障がいのある方ご本人がお書きください。

もし、ご本人がお書きになれないときは、ご本人に代わって施設職員
などの介助者がお書きください。

その際、できるだけご本人の意見を聞いて、ご記入ください。

○ この調査はお名前を書く必要はありません。個人の秘密は守られますの
でご安心してお答えください。

○ お答えになりたくないことは、無理にお答えにならなくても結構です。

○ この調査は令和4年12月1日現在の状況でお答えください。

わからないことがありましたら、こちらまでお問い合わせください

おおさか し ふく し きょく しょう しゃ し さく ぶ しょう ふく し か たんとう むらた ほうじょう
大阪市福祉局 障がい者施策部 障がい福祉課 (担当：村田・北條)

でんわ 電話 06-6208-8071 ファックス 06-6202-6962

この調査票で「あなた」とは障がいのある方ご自身（ご本人）のことです

(はじめに)

この調査票はどなたが記入されますか。

あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. あなた（本人）がひとりで記入する
2. 本人に聞きながら、施設職員などの介助者が記入する
3. 本人の意向を考えながら（想像しながら）、施設職員など介助者が記入する

1 あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたは施設に入所される前はどちらにお住まいでしたか。

あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|----------|---------|----------|----------|
| 1. 旭区 | 2. 阿倍野区 | 3. 生野区 | 4. 北区 |
| 5. 此花区 | 6. 城東区 | 7. 住之江区 | 8. 住吉区 |
| 9. 大正区 | 10. 中央区 | 11. 鶴見区 | 12. 天王寺区 |
| 13. 浪速区 | 14. 西区 | 15. 西成区 | 16. 西淀川区 |
| 17. 東住吉区 | 18. 東成区 | 19. 東淀川区 | 20. 平野区 |
| 21. 福島区 | 22. 港区 | 23. 都島区 | 24. 淀川区 |

問2 あなたの性別は次のうちどれですか。

あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|------|------|---------------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. その他・答えたくない |
|------|------|---------------|

問3 あなたの満年齢はおいくつですか。次の にお書きください。

問4 あなたの障がい^{しょうがい}は、次のうちどれにあてはまりますか。

あてはまる番号^{ばんごう}すべてに○をつけてください。

- | | |
|---|----------------------------------|
| 1. 身体障がい ^{しんたいしょうがい} | 2. 知的障がい ^{ちてきしょうがい} |
| 3. 精神障がい ^{せいしんしょうがい} | 4. 発達障がい ^{はったつしょうがい} ※1 |
| 5. 高次脳機能障がい ^{こうじのうきのうしょうがい} ※2 | 6. 難病 ^{なんびょう} ※3 |

- ※1 発達障がい^{はったつしょうがい}・・・自閉症^{じへいしょう}、アスペルガー症候群^{しょうこうぐん}、その他の広汎性発達障がい^{た こうはんせい はったつしょうがい}、学習障がい^{がくしゅうしょうがい}、注意欠陥多動性障がい^{ちゅういけつかんたどうせいしょうがい}、その他のこれに類する脳機能障がい^{のうきのうしょうがい}であって、その症状^{しょうじょう}が通常^{つうじょう}低年齢^{ていねんれい}において発現^{はつげん}するものを言います。
- ※2 高次脳機能障がい^{こうじのうきのうしょうがい}・・・頭部^{とうぶ}の病気^{びょうき}や事故^{じこ}により脳^{のう}に損傷^{そんしょう}を受け、その後遺症^{こういしょう}として、記憶^{きおく}・意思^{いし}・感情^{かんじょう}などの高度^{こうど}な脳^{のう}の働き^{はたらき}に障がい^{しょうがい}が現れる状態^{じょうたい}を言います。
- ※3 難病^{なんびょう}・・・治療方法^{ちりょうほうほう}が確立^{かくりつ}していない疾病^{しつぺい}その他の特殊^{とくしゅ}の疾病^{しつぺい}で厚生労働省^{こうせいろうどうしょう}が定める障害者^{しょうがいしゃ}総合支援法^{そうごうしえんぽう}の366^いを言います。

問5 あなたの障がい者手帳^{しょうがいしゃてちょう}の種類^{しゅるい}・等級^{とうきゅう}は、次のうちどれですか。

あてはまる番号^{ばんごう}すべてに○をつけてください。

- | | |
|---|--|
| 1. 身体障がい者手帳1級 ^{しんたいしょうがいしゃてちょう きゅう} | 2. 身体障がい者手帳2級 ^{しんたいしょうがいしゃてちょう きゅう} |
| 3. 身体障がい者手帳3級 ^{しんたいしょうがいしゃてちょう きゅう} | 4. 身体障がい者手帳4級 ^{しんたいしょうがいしゃてちょう きゅう} |
| 5. 身体障がい者手帳5級 ^{しんたいしょうがいしゃてちょう きゅう} | 6. 身体障がい者手帳6級 ^{しんたいしょうがいしゃてちょう きゅう} |
| 7. 療育手帳A ^{りょういくてちょうえー} | 8. 療育手帳B1 ^{りょういくてちょうびー} |
| 9. 療育手帳B2 ^{りょういくてちょうびー} | |
| 10. 精神障がい者保健福祉手帳1級 ^{せいしんしょうがいしゃほけんふくしてちょう きゅう} | |
| 11. 精神障がい者保健福祉手帳2級 ^{せいしんしょうがいしゃほけんふくしてちょう きゅう} | |
| 12. 精神障がい者保健福祉手帳3級 ^{せいしんしょうがいしゃほけんふくしてちょう きゅう} | |
| 13. 持っていない ^も | |

とい
問6

とい しんたいしょう しやてちよう きゅう しんたいしょう しやてちよう きゅう
問5で「1. 身体障がい者手帳1級」から「6. 身体障がい者手帳6級」に

まる かた
○をつけた方におたずねします。

あなたの しょう しょうい ぶ い つぎ
障がいの種類（部位）は次のうちどれですか。

あてはまる番号すべてに 〇をつけてください。

1. しかくしょう め ぶじゆう
視覚障がい（目が不自由）
2. ちようかくしょう へいこう きのうしょう みみ ぶじゆう
聴覚障がい・平衡機能障がい（耳が不自由）
3. おんせい げんご きのうしょう こえ で
音声・言語・そしゃく機能障がい（声が出ない、ものがかめない）
4. したいぶじゆう て あし ぶじゆう
肢体不自由（手や足が不自由）
5. ないぶしょう しんぞう
内部障がい（心臓）
6. ないぶしょう じんぞう
内部障がい（腎臓）
7. ないぶしょう こきゅうき
内部障がい（呼吸器）
8. ないぶしょう ぼうこう また ちよくちよう
内部障がい（ぼうこう又は直腸）
9. ないぶしょう しょうちよう
内部障がい（小腸）
10. ないぶしょう めんえき きのうしょう
内部障がい（免疫機能障がい）
11. ないぶしょう かんぞう
内部障がい（肝臓）

とい
問7

じりつ しえんいりよう せいしんつういん じゆきゆう
あなたは自立支援医療（精神通院）を受給されていますか。

あてはまる番号に1つだけ 〇をつけてください。

1. じゆきゆう
受給している
2. じゆきゆう
受給していない

とい
問8

しょう しえんくぶん つぎ
あなたの障がい支援区分（※）は次のうちどれですか。

あてはまる番号に1つだけ 〇をつけてください。

1. くぶん 1
2. くぶん 2
3. くぶん 3
4. くぶん 4
5. くぶん 5
6. くぶん 6
7. しんせい ひがいと
申請をしたが非該当だった
8. しんせい
申請はしていない

※ しょう しえんくぶん しょう ふくし りよう しょう たよう とくせい た
障がい支援区分・・・障がい福祉サービスを利用するにあたって、障がいの多様な特性その他

しんしん じょうたい おう ひつよう ひょうじゅんてき しえん どあい そうごうてき あらわ くぶん い
心身の状態に応じて必要とされる標準的な支援の度合を総合的に表す区分を言います。

2 施設とくらしのことについておたずねします。

とい 問9 あなたが^{にゅうしょ}入所している施設^{しせつ}の種類^{しゅるい}はどれですか。

あてはまる番号^{ばんごう}に1つだけ^{まる}○をつけてください。

1. 障がい者支援施設^{しょう しゃしえんしせつ}
2. 障がい児入所施設^{しょう じにゅうしょしせつ}
3. わからない

とい 問10 あなたが^{にゅうしょ}入所している施設^{しせつ}はどちらにありますか。

あてはまる番号^{ばんごう}に1つだけ^{まる}○をつけてください。

1. 大阪市内^{おおさかしな}
2. 大阪府内（大阪市以外）^{おおさかふない おおさかしいがい}
3. 大阪府外（都道府県名：^{おおさかふがい とどうふけんめい} ）

とい 問11 施設^{しせつ}に入所^{にゅうしょ}するまでは、どのようなことをしていましたか。

あてはまる番号^{ばんごう}に1つだけ^{まる}○をつけてください。

1. 保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、大学などに
通^{かよ}っていた
2. 一般企業、自営業、在宅勤務などで働^{はたら}いていた^{いっばんきぎょう じえいぎょう ざいたくきんむ}
3. 病院に入院していた^{びょういん にゅういん}
4. 別の施設に入所していた^{べつ しせつ にゅうしょ}
5. ほとんど自宅で過^すぎしていた^{じたく}
6. その他（^た ）

問12 施設に入所している期間の合計はどれくらいですか。

あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上2年未満 |
| 3. 2年以上5年未満 | 4. 5年以上10年未満 |
| 5. 10年以上15年未満 | 6. 15年以上20年未満 |
| 7. 20年以上30年未満 | 8. 30年以上40年未満 |
| 9. 40年以上50年未満 | 10. 50年以上 |

問13 あなたが施設に入所することを決めた人はどなたですか。

もっともよくあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 自分で決めた
2. 自分以外の人が決めた
⇒ どなたが決めましたか。次の（ ）に書いてください。 例：両親
（ ）
3. わからない

問14 あなたが施設に入ることになったのはなぜですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 在宅で、家族からの支援を受けることができなかったから
2. 家に段差などがあり、暮らしにくかったから
3. 施設で暮らす方がいいと思ったから
4. 施設で訓練を受けたいという目的があったから
5. 介護サービスやグループホームなどの地域のサービスが不足しているから
6. その他（ ）
7. わからない

とい 問15 がいしゅつ しせつ そと で 外出（施設の外に出ること）はどれくらいしていますか。

もっともよくあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. まったくがいしゅつ 外出しない
2. ねん すうかいがいしゅつ 年に数回外出する
3. つき すうかいがいしゅつ 月に数回外出する
4. しゅう かいがいしゅつ 週に1～2回外出する
5. しゅう かいがいしゅつ 週に3～4回外出する
6. まいにちがいしゅつ ほぼ毎日外出する

とい 問16 がくしゅう さぎょう くんれん いろいろな学習や作業をしたり、訓練をしたりしていますか。

にちじょうてき 日常的にしていることで、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. しせつ なか がくしゅうかつどう 施設の中で、学習活動をしている
2. しせつ なか さぎょう くんれん 施設の中で、作業や訓練をしている
3. しせつ そと で がくしゅうかつどう 施設の外に出て、学習活動をしている
4. しせつ そと で さぎょう くんれん 施設の外に出て、作業や訓練をしている
5. がくしゅう さぎょう くんれん 学習や作業や訓練はしていない

とい 問17 しゅみ よ か かつどう あなたの趣味や余暇活動についておたずねします。

にちじょうてき 日常的にしていることで、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. スポーツかつどう 活動をしている
2. さんぽ 散歩をしている
3. ゲームなどのレクリエーションをしている
4. え か こうさく 絵を描いたり、工作をしている
5. ラジオなどでおんがく き 音楽などを聴いたり、テレビや映画をえいが み 見ている
6. かいもの で 買物に出かける
7. その他（ ）

8. ほとんどいつも部屋で過ごしている

問18 今の施設での暮らしで何か望むことがありますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自分だけの部屋がほしい
2. 好きな時間に食事がしたい
3. 好きな時間にお風呂に入りたい
4. 好きな時間に寝たり起きたりしたい
5. 好きな時に外出したい
6. もっと手厚く介助をしてほしい
7. 少人数単位のきめこまかい家庭的サービスを受けたい
8. 新型コロナウイルス感染症の影響により会えない家族や友人・知人に会いたい
9. その他（ ）
10. 特に望むことはない

問19 将来、施設を出て生活をしたいと思いませんか。

もっともよくあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. ずっと施設にいたい
2. 一人暮らしをしたい
3. 地域での生活を体験してみたい
4. 親やきょうだいと暮らしたい
5. 配偶者（夫や妻）や子どもと暮らしたい
6. 友達と暮らしたい
7. グループホーム（※1）で暮らしたい
8. その他（ ）

※1 グループホーム・・・障がいのある方が地域での自立生活を確立するため、概ね5人程度の少人数で、必要な家事や日常生活上の支援を受けながら共同生活を営む場です。

問20 どれくらい先に施設を出て生活をしたいとおもっていますか。

もっともよくあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. いますぐ
2. 半年くらい先
3. 1年くらい先
4. 2～3年くらい先
5. いつかはわからないが、施設を出て生活をしたい
6. 施設を出て生活はしたくない（施設にずっといたい）
7. わからない

問21 あなたが施設を出て生活することを考えた時に、不安に思うことが何かありますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 身のまわりの介助のこと
2. 一緒に暮らす人のこと
3. 身近な相談先のこと
4. 病気や災害の時などの緊急時の援助のこと
5. 家族の理解のこと
6. 仕事のこと
7. 十分な収入を得ること
8. お金を管理すること
9. 趣味やいきがづくりのこと
10. 健康を保つことや年齢（高齢など）のこと
11. 必要な情報を得ること
12. 地域での生活をイメージできない
13. なんとなく不安

14. その他（ ）

15. 特に不安なことはない

問22 あなたが施設を出て暮らすことになったときに、必要と思う支援やサービスは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 相談支援を利用すること
2. ホームヘルプサービス（※1）を利用すること
3. ショートステイ（※2）を利用すること
4. 外出時に支援を受けること
5. 通院時に介助の支援を受けること
6. 余暇活動に参加するときに支援を受けること
7. 配食サービスを利用すること
8. グループホームに住むこと
9. グループホームで体験ができること
10. バリアフリーになっている住居を確保すること
11. 地域で必要な医療やケアを確実に受けられること
12. 機能訓練や生活訓練などの場があること
13. 趣味やスポーツの場があること
14. いろいろな生活体験の取り組みができること
15. 施設にもどれる保障をしてくれること
16. 財産管理などのサービスを受けること
17. 金銭管理などのサービスを受けること
18. 収入の確保
19. 緊急時に対応してくれること
20. その他（ ）
21. 特にない

※1 ホームヘルプサービス・・・障がいのある方の自宅で入浴、排せつ、食事の介護等を行ったり、家事の援助や通院の介助等を行う事業です。

※2 ショートステイ・・・ご家族の方の疾病などにより一時的に介護できない場合に、入所施設などに短期間（1週間程度）宿泊して介護サービスなどを提供する事業です。

問23 施設を出て生活することに関して、ご家族の方はどのようにお考えですか。

あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 理解^{りかい}している
2. 反対^{はんたい}している
3. わからない
4. 家族^{かぞく}はいない

問24 施設を出て生活するにあたり、住居^{じゅうきょ}の確保^{かくほ}、外出^{がいしゅつ}の際^{さい}の同行^{どうこう}、障がい福祉サービスの体験^{たいけん}的な利用^{りよう}支援^{しえん}などの必要^{ひつよう}な支援^{しえん}を行^{おこな}う相談^{そうだん}機関^{きかん}に相談^{そうだん}したいと思^{おも}いますか。

あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 相談^{そうだん}したいと思^{おも}う
2. 相談^{そうだん}したいとは思^{おも}わない
3. わからない

3 障がい者施策全般のことなどについておたずねします。

問25 あなたが障がいを理由に不快（差別）や不便さを感じた時はどんな時ですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

また、○をつけた次の欄に、具体的な事例を書いてください。

1. 教育を受ける時
(具体例：)
2. 働こうとした時、働いている時
(具体例：)
3. 趣味・スポーツなどの活動をする時
(具体例：)
4. 公共交通機関を利用する時
(具体例：)
5. 公共施設（建物・道路・公園など）などを利用する時
(具体例：)
6. 福祉サービスを利用する時
(具体例：)
7. 医療機関を利用する時
(具体例：)
8. 必要な情報を探したり情報提供を受ける時
(具体例：)
9. 住宅の購入または住宅に入居する時
(具体例：)
10. 政治活動や選挙に参加する時
(具体例：)
11. 家族や周囲の人の理解を得ようとする時
(具体例：)
12. 買物や外食などをする時
(具体例：)
13. その他
(具体例：)
14. 特にない

問26 障がい^{しょうがい}を理由^{りゆう}とした差別^{さべつ}や偏見^{へんけん}をなくすためには、
どのようなことが必要^{ひつよう}だと思いますか。

あてはまる番号すべてに^{ばんごう}○をつけてください。

1. 学校^{がっこう}での教育^{きょういく}
2. 事業者^{じぎょうしゃ}（企業^{きぎょう}や店舗^{てんぽ}など）での研修^{けんしゅう}
3. 地域^{ちいき}でのイベントなどの開催^{かいさい}
4. テレビやラジオでの啓発^{けいはつ}
5. SNS（Twitter、Facebook、Instagramなど）を利用^{りよう}した啓発^{けいはつ}
6. その他（^た）

問27 大阪市^{おおさかし}には障がい^{しょうがい}を理由^{りゆう}とする差別^{さべつ}に関する相談窓口^{かんそうだんまどぐち}があります。

あなたがその相談窓口^{そうだんまどぐち}として知^しっているものはどれですか。

あてはまる番号すべてに^{ばんごう}○をつけてください。

1. 区役所^{くやくしょ}
2. 区障がい者基幹相談支援センター^{くしょうしゃきかんそうだんしえん}（各区^{かくく}1か所^{しよ}）
3. 地域活動支援センター^{ちいきかつどうしえん}（生活支援型^{せいかつしえんがた}）（市内^{しよ}9か所）
4. 大阪市人権啓発・相談センター^{おおさかしじんけんけいはつそうだん}
5. すべて知らない^し

問28 あなたが障がい者施策全般について望むことは何ですか。

あてはまる^{ばんごう}番号すべてに○^{まる}をつけてください。

1. ホームヘルプサービスの充 実じゅうじつ
2. 日中活動の場の充 実にっちゅうかつどう ば じゅうじつ
3. ショートステイサービスの充 実じゅうじつ
4. グループホームの充 実じゅうじつ
5. 相談支援体制の充 実そうだんし えんたいせい じゅうじつ
6. 障 がい福祉サービスの利用者負担の軽減しょう がい ふくし りようしゃ ふたん けいげん
7. 地域移行支援（※1）の充 実ちいきい こうし えん じゅうじつ
8. 就 労支援の充 実しゅうろうし えん じゅうじつ
9. 所得の保障しよとく ほしょう
10. 交通バリアフリーなどの福祉のまちづくりに基づく環 境整備こうつう ふくし もと かんきょうせいび
11. 暮らしやすい住 宅の整備く じゅうたく せいび
12. 保健・医療・リハビリテーションの充 実ほけん いりょう じゅうじつ
13. 障 がいの特性に配慮した情 報 提 供の充 実しょう とくせい はいりょ じょうほうていきょう じゅうじつ
14. 外 出時の支援の充 実がいしゅつ じ し えん じゅうじつ
15. 趣味・余暇活動の場の確保しゅみ よ か かつどう ば かくほ
16. 高齢 障 がい者支援の充 実こうれいしょう しゃし えん じゅうじつ
17. 夜間・休 日・緊 急時の連絡・相談支援体制の確保やかん きゅうじつ きんきゅう じ れんらく そうだんし えんたいせい かくほ
18. 地域での見守り体制の充 実ちいき みまも たいせい じゅうじつ
19. 障 がいに対する理解を深めるための啓発・広報の充 実しょう たい りかい ふか けいはつ こうほう じゅうじつ
20. 成年後見制度などの権利擁護支援の充 実せいねんこうけんせいど けんりようごし えん じゅうじつ
21. 災害時などの緊 急時の防災対策さいがい じ きんきゅう じ ぼうさいたいさく
22. 差別解 消の推進さべつかいしょう すいしん
23. 子育て等の支援の充 実こ ぞだ とう し えん じゅうじつ
24. その他（た
25. 特にないとく

※1 ちいきいこうしえん 地域移行支援・・・ しせつ 施設や びやういん 病院を出て、 じぶん 自分の す 住みたいところで く 暮らすための しえん 支援です。

問29 障がい者施策全般についてご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

返送用封筒に入れて、切手を貼らずに令和4年12月20日（火）までにポストにお入れください。